

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



創 立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会 場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金1-2
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <http://www.konan-rc.com/>
 Mail / kouanarc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2022年(令和4年) 9月 1日 (木) 晴 第2738回 (当年度第 7回)例会

点 鐘
 国歌斉唱
 司 会
 ロータリーソング斉唱
 四つのテスト唱和

会長 富永 典夫君
 「君が代」
 SAA 片平 博己君
 「我等の生業」
 永田 広光君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及ビジター紹介



米山奨学生 タンヤピシット・シタン君
 ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶



先週の木曜日に夕方より天気が荒れて大きな雷が鳴り響きました。この時我社の近くに落雷がございました。時間は午後7時16分ごろであります。ちょうど社員に早めの帰宅を即しておりましたので最後に私が帰宅した、5分後ぐらいだと思いますが、帰宅の途中も空が昼間のように見えるほどの雷光が何度もみられました。この時に会社に落雷しそのためキュービクルが故障しました。次の日何も知らずに出社しましたら停電しておりどたばたとしました。電気の復旧に3日かかりその後コピー機や電話、工場内の機械の一部が小不能となっているのが発覚しましたが、何とか昨日にはほとんど復旧できました。日頃から危機管理に気を付けておればと反省しております。入っていて良かった保険と言いますがいくらかはカバーできる予定であります。油断大敵、皆さんも慌てないように気をつけてください。今月はロータリーの友月刊です「友」を読むことにより、日本、世界のロータリアンと情報を同時に共有することができます。これではじめてロータリーのロータリアンになります。「なぜロータリーの友を読むのか」それは「ロータリーのロータリアンであるため」であると言われます。ロータリアンの資格は、会費の納入だけではクラブの会員ですが、ロータリアンではありません。また例会への出席だけではクラブのロータリアンでロータリーのロータリアンではありません。「友」を読むことにより、日本、世界のロータリアンと情報を同時に共有することができます。これではじめてロータリーのロータリアンになります。1905年2月23日、たった4人ではじまったクラブはラグルスをはじめ多くの会員が入会し、どんどん大きくなり、2年後の1907年、ポールがシカゴクラブ会長になったとき、他都市にも同様のクラブを作ろうとし、次々と新しいクラブができました。この拡大を始めた1907年から10年にかけてロータリー最初の危機が起きました。シカゴクラブ内は、ポールたち奉仕派と、ラグルスたち親睦派に分裂し、混乱が起きたのです。「奉仕か、親睦か」1910年には16クラブになり、第1回ロータリークラブ連合会大会開催、初代会長はポール・ハリス。この連合会設立は「奉仕か、親睦か」の混乱を鎮める意味合いもあり、クラブは親睦を連合会は奉仕をとりまとめるということで收拾をはか

ろうとしました。このシカゴ大会の終わった1910年末にポールは一つのエッセイを書きました。ポールは、1907年から、親睦団体であるクラブの中に奉仕という概念を入れようとしていました。しかしロータリーにおける親睦と奉仕とを上下の関係において捉えたことは誤りである、「ロータリーとは寛容である。親睦も大切だが、奉仕も大切。奉仕も大切だが、親睦も大切。」こうしてロータリー情報を共有しようと1911年1月25日にポール・ハリスのエッセイが掲載された機関紙「ザ・ナショナルロータリアン」創刊。これが全世界のロータリアンのコミュニケーションの場であるロータリー雑誌の始まりで、ポール・ハリスの『合理的ロータリアニズム』がこの雑誌を生んだといえます。戦後1949年、日本のRCはRI第60区として復帰。1952年4月に大阪市中央公会堂で第60区最後の大会が開催。この地区大会で、二地区になってからも連絡を緊密にするための日本語による共通の機関紙創刊を企画。第1回準備会が大阪、1952年8月岐阜の第2回準備会で名称は『ロータリーの友』、横書きで創刊は1953年1月とする等、骨子がきまりました。これが『ロータリーの友』の始まりです。最初は自由購読で定価50円。当時は英和辞書を片手に英文の『ザ・ロータリアン』を購読していた会員が多く、多くの売れ残りが発生。その後京都で開かれたロータリー50周年第60・61区地区連合大会で完全購読制が決議。1972年1月から縦組と横組に分けた現在の形に。友の定価は1975年1月号に200円となり現在まで続いています。1980年7月にRI公式地域雑誌に指定。

幹事報告 -別紙- 幹事 岩田 進市君

出席報告 委員 木本 寛君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
46名	36名	10名	83.72%

ニコボックス 委員 杵本 哲一君

○2760地区2022-23年度クラブフォーラム
クラブ管理運営常任委員会、副委員長古田嘉且君
本日の卓話、よろしくお願い致します。

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平

各君

○本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

古田 嘉且君

○R.I.D2760 2022-23年度 クラブフォーラム
クラブ管理運営常任委員会 副委員長 古田嘉且君
本日の卓話、よろしくお願い致します。

伊藤 鶴吉、倉知 正憲、熊沢 治夫、松岡 一成、
庄田 元久、杉浦 賢二、沢田 昌久、片平 博己、
岩田 静夫、杵本 哲一、長瀬 晴義、波多野 智章、
中村 耕司、富田 清孝

各君

卓話



R.I.D2760 2022-23年度 クラブフォーラム
クラブ管理運営常任委員会 副委員長 古田嘉且君

「新しい潮流の中のロータリークラブを考える—国際ロータリーの変遷と最近の動向を中心に—」

ロータリーは、自由主義経済が過熱し、過当競争や誇大広告、不正が横行する20世紀初頭の米国シカゴで、商道德の欠如する風潮に耐えかねた青年弁護士ポール・ハリスが、友人3人と語らって、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いが、そのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やそうと、1905年2月23日に始めた運動です。会員間の相互扶助による利益と社交クラブとしての親睦に加え、地域社会に対する貢献、公共の奉仕への方向性の追加で、ロータリーは、世界中に発展していきました。その後、職業奉仕を中心として成長したロータリーですが、組織の巨大化に伴い、民族、国民性、宗教、言語等個人による温度差、東西の温度差、貧富の格差社会からくる南北の温度差、社会的ニーズの変貌等、多数の要因により多様性を持つようになりました。特に、21世紀に入って、国際ロータリーは大きく変わろうとしています。国際ロータリーは、組織の管理と運営に新しい要素を導入し、2000年から始まったDLP及びCLPの導入から始まり、戦略計画に3つの優先項目を設けました。さらに、2016年の規定審議会において、柔軟性の導入として、①例会と出席、及び②会員身分が取り上げられ、2019年規定審議会では、さらなる柔軟性の拡大が提案され、①クラブの職業分類の制限を廃止、②欠席のメイクアップ期間が年度内に拡大、③ローターアクトクラブのRI加盟などが採択されています。このような変化を十分に理解する必要があります。

ところで、近年、ロータリーが本来持っていた魅力や力が失われつつあると言われていています。しかし、クラブ運営の基本原則は、クラブの自治権にあります。定款に違反しない限り、クラブ細則は、それぞれのクラブの実情に合わせて定められるべきであり、柔軟性を持ったクラブ運営がなされることが大切です。私たちのクラブの存在価値は何か。クラブとはどのようなサービスで社会貢献しようとしているのか。の問いに対する答えを、クラブ全体で追及することが、重要になってきます。今一度、入会した当時の気持ちを思い出して頂いて、ロータリーを考えるきっかけになれば、幸いです。

本日の食事



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



**ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら**

写真等がございましたら会報までお知らせください
(担当 北畑 祐二、佐藤 弘夫)